

流 域 下 水 道 事 業 会 計
令和6年度和歌山県流域下水道事業会計補正予算実施計画

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 資 本 的 収 入			千円	千円	千円	
			1,393,795	79,800	1,473,595	
	1 企 業 債		147,600	16,700	164,300	
		1 企 業 債	147,600	16,700	164,300	紀の川流域 4,200 紀の川中流流域 12,500
	2 補 助 金		1,098,462	46,450	1,144,912	
		1 国 庫 補 助 金	498,333	46,500	544,833	紀の川流域 7,500 紀の川中流流域 39,000
		2 他 会 計 補 助 金	600,129	△50	600,079	紀の川流域 △75 紀の川中流流域 25
	3 負 担 金		147,733	16,650	164,383	
		1 建 設 負 担 金	147,733	16,650	164,383	紀の川流域 4,125 紀の川中流流域 12,525

支 出						
款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 資 本 的 支 出	1 建 設 改 良 費		千円 1,393,795	千円 79,800	千円 1,473,595	
			793,800	79,800	873,600	
		1 建 設 事 務 費	37,800	3,800	41,600	紀の川流域 750 紀の川中流流域 3,050
		2 流域下水道建設事業費	756,000	76,000	832,000	紀の川流域 委託料 15,000 紀の川中流流域 工事請負費 51,000 委託料 10,000

令和6年度和歌山県流域下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

千円

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	41,433
	減価償却費	1,495,614
	長期前受金戻入額	△1,495,614
	支払利息及び企業債取扱諸費	129,086
	未収金の減少	13,836
	未払金の減少	△105,665
	前受金の増加	<u>26,427</u>
	小計	105,117
	利息の支払額	<u>△129,086</u>
	業務活動によるキャッシュ・フロー	△23,969
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△1,036,209
	建設負担金による収入	196,736
	国庫補助金による収入	700,692
	他会計補助金による収入	<u>600,079</u>
	投資活動によるキャッシュ・フロー	461,298
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	企業債による収入	216,300
	企業債の償還による支出	<u>△599,995</u>
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△383,695
	資金増減額	53,634
	資金期首残高	<u>402,936</u>
	資金期末残高	456,570

令和6年度和歌山県流域下水道事業予定貸借対照表

(令 和 7 年 3 月 3 1 日)

千円

千円

千円

千円

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

56,200,540

減 価 償 却 累 計 額

△9,595,768

有 形 固 定 資 産 合 計

46,604,772

(2) 無 形 固 定 資 産

無 形 固 定 資 産 合 計

12,750

固 定 資 産 合 計

46,617,522

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金

456,570

(2) 未 収 金

106,367

(3) 前 払 金

0

流 動 資 産 合 計

562,937

資 産 合 計

47,180,459

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

6,749,361

固 定 負 債 合 計

6,749,361

4	流	動	負	債			
(1)	企		業	債		598,692	
(2)	未		払	金		175,515	
(3)	前		受	金		159,915	
(4)	そ	の	他	流	動	負	債
						<u>1,000</u>	
				流	動	負	債
				合	計		935,122
5	繰	延	収	益			
(1)	長	期	前	受	金	42,942,591	
				長	期	前	受
				金	収	益	化
				累	計	額	
						<u>△9,697,485</u>	
				繰	延	収	益
				合	計		<u>33,245,106</u>
				負	債	合	計
							<u><u>40,929,589</u></u>
資 本 の 部							
6	資		本	金			14,149
7	剰		余	金			
(1)	資		本	剰	余	金	
	イ	国	庫	補	助	金	
						4,293,542	
	ロ	そ	の	他	資	本	剰
					余	金	
						<u>1,898,413</u>	
				資	本	剰	余
				金	合	計	
						<u>6,191,955</u>	
(2)	利		益	剰	余	金	
	イ	当	年	度	未	処	分
					利	益	剰
					余	金	
						<u>44,766</u>	
				利	益	剰	余
				金	合	計	
						<u>44,766</u>	
				剰	余	金	合
				計			<u>6,236,721</u>
				資	本	合	計
							<u>6,250,870</u>
				負	債	資	本
				合	計		<u><u>47,180,459</u></u>

注

記

I. 重要な会計方針に関する注記

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

- ・減価償却の方法

定額法による。

- ・主な耐用年数

建	物	8～50年
---	---	-------

構	築	物	30～50年
---	---	---	--------

機械及び装置	8～20年
--------	-------

工具器具及び備品	5～15年
----------	-------

車	両	6年
---	---	----

(2) 無形固定資産

- ・減価償却の方法

定額法による。

2 引当金の計上方法

- ・貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

3 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

該当なし。

III. 予定貸借対照表に関する注記

予定貸借対照表に計上されている企業債（当年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は7,348,053千円である。

IV. セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

和歌山県流域下水道事業会計は、紀の川流域下水道（伊都処理区）、紀の川中流流域下水道（那賀処理区）を運営していることから、2つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は次のとおりである。

施設の名称	処理する区域の存する市町
紀の川流域下水道	橋本市、かつらぎ町、九度山町
紀の川中流流域下水道	紀の川市、岩出市

2 報告セグメントごとの資産等

当年度（自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日）

（単位：千円）

	紀の川流域下水道	紀の川中流流域下水道	合 計
セグメント資産	23,014,996	24,165,463	47,180,459
セグメント負債	18,902,652	22,026,937	40,929,589
その他の項目 有形固定資産及び無形固定資産の増加額	658,826	378,897	1,037,723

V. 減損損失に関する注記

該当なし。

Ⅵ. リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

Ⅶ. 重要な後発事象に関する注記

該当なし。

Ⅷ. その他の注記

該当なし。